第425輯

わが町三原

みはら歴史と観光の会

平成3年3月創刊
月刊

令和 8年　　8月号

小早川隆景公の法要厳かに



〔 法要の冒頭で挨拶される岡田三原市長 〕

R8.6.06 撮影　津島 敏子(沼田東町)

令和8年6月6日 米山寺小早川家墓所において、小早川隆景公の法要が三原市長・同市会議長をはじめ、県内外からも多数の参列者の見守る中、厳かに執り行われた。 数年前、大相撲の関脇若隆景関が入門間もない頃、お母様が、三兄弟の四股名の由来について説明に墓参されたとのこと。五月場所2回目の幕内優勝を果たし、七月場所連覇すれば大関昇進が期待された若隆景関が怪我で休場なのは残念である。一方NHK大河ドラマ「豊臣兄弟」では、信長が本能寺で急逝し、いよいよ秀吉の天下で隆景公の秀逸さが、全国民に知らされる時が近づいて来た。
今後目の離せない回数が増えることが期待される。

八月の行事

各	07日(金)～09日(日)　第51回 三原やっさ祭り (三原駅前周辺) 最終日の9日(日)は花火大会 (沼田川河口)
地	16日(日)　チンコンカン　主会場 新倉 牛神社(大須賀神社)
会	29日(土)　勉強会 「三原志稿 (3-6)」　10:00～ サン・シープラザ4F

目　次

第425輯　（令和八年八月号）

P 1	表　紙… 表題：小早川隆景公の法要厳かに		行事予告
	写真：法要の冒頭で挨拶される岡田三原市長		
2	目次 / 令和のクマ騒動 その背景にあるものは(1)	幸崎町	行長　啓三
3～5	隆景公の法要に参列しました	沼田東町	津島　敏子
6～9	講演会記録「忠臣蔵と三原」(1)　安田女子大学教授		島田　大助
10～11	県史協　第48回大崎上島大会のご案内		事　務　局
12	会よりの便り		事　務　局





葉月（はつき）　丙午（ひのえうま）　AJ2686　令和八年　AD2026

今月の各地　むラ　ムら。　まち　まチ　歳時記

令和のクマ騒動 その背景にあるものは(1)

幸崎町　行長　啓三

昨年、「令和の熊騒動」と題して、三原市の出没状況や生態、原因について記述したが、今一度、クマ出没の背景について考えて見たい。

昨今のクマの大量出没は、一般的に次のような原因が考えられている。

①一時クマが少なくなって保護政策を取った。それが行き過ぎて、クマの生息域がどんどん広がってきた。（広島県では今も保護動物）

②中山間地域の過疎化で里山の荒廃が進み、山と里の境界がなくなった。

③さらに年度によっては、ブナ科のドングリ（堅果類）が大凶作になって、一気にクマが人里に出没した。

しかし、この認識は一部正しいものを含んではいるが、構図全体としては間違っていると、金井塚　務　広島フィールドミュージアム代表は述べています。

この問題を読み解くためのポイントは、過去から現在まで、どのように自然が変わってきたのか、あるいは人の社会がどう変わってきたのかを具体的に見なければならないことであると述べている。

クマの大量出没の背景には、森林地帯における大面積皆伐・拡大造林による広樹林の破壊によって森林生物の多様性・生産力の減退が1960～70年代におこったことであるという。この状況について考えさせられることが、今年の2月、広島市安佐北区の大規模植林地で行われた「シカ防護柵に関する現地検討会」であった。植えたばかりの苗木や成長する樹木をシカの食害等から守るための防護柵、ネット、苗一本々を守るカバーなどの大規模対策について研修し、その状況を見学する中で、防護対策だけでなく、金井塚先生の動植物の生息環境の観点からからの捉えが重要であると痛感した。生き物（主体）は、環境との相互作用の中でずっと生き抜いてきた。よって、環境が変われば主体も変わらなければならないのです。



次回の報告では、主体と環境の相互作用について、金井塚先生の捉えを具体的に紹介します。

レキカンだより

令和8年8月

検索 わが町三原

みはら歴史と観光の会
723-0051　三原市宮浦6丁目 9－32

～みはら市民協働サイト「つなごうねっと」加入団体～

レキカンは新入会員・再入会員を募集・歓迎しております

行　事　報　告

6月26日　月報発送配布作業（奥川、大原、岡田、小川、川上、桑田、高杦、正田哲、瀬畑、金森、西村、松竹、三好他）

7月06日　7月度理事会（バス研修旅行、県史協行事、市郷連秋季講演会）

行　事　予　定

1. 勉強会

(1) 日　時　　8月29日(土) 10時～12時

(2) 会　場　　サン・シープラザ4F　第2研修室

(3) 内　容　　「三原志稿(3-6)」の輪読

2. 県史協大崎上島大会(10月21日開催)の参加者募集！(締切8月20日)

本文に記載の要領で開催されます。参加希望者は、本頁右上に記載の事務局まで、レキカン会員は姓名のみ、会員外は住所・電話番号も添えて弁当要否・バスへの乗降場所を明示して申し込みください。

3. 行事予告　　詳細要領は後日月報にてお知らせします。

3.1　レキカン秋のバス研修旅行

11月14日(土)　井原市芳井町西三原　糸崎八幡神社他を訪問

3.2　市郷連秋季歴史講演会

11月28日(土)　講師　愛媛大学　佐藤大規准教授